

# ほほえみ

人らしく応援紙

第 107 号

2018 年 7 月 31 日



社会福祉法人優輝福祉会

〒729-3713

広島県庄原市総領町中領家 476 番地



◆トピックス	
『広島 里山福祉研究会』	.....2
◆この事業所に『この人』あり	
おしゃれでスタイル抜群のスーパーウーマン	.....4
川崎市から庄原市へ	.....5
◆事業の『お宝』	
配食サービス	.....6
みら屋カフェ	.....6
小規模利用者さんから就労社員さんへ雑巾の贈呈	.....7
◆地域の方へ『暮らしまかせて』	
いろいろな防災訓練	.....8
福業移転	.....9
◆障害事業所めぐり	
活躍の場がいっぱいの施設	.....10
コーギーソルト	.....10
みず幸場 ～メガネの田中ラベルで被災地支援～	.....11
◆感謝	
福祉車両補助 ありがとう	.....12
配達員よりゆうしゃいん庄原へ ありがとう	.....12
◆はじめました	
認知症カフェ	.....13
魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま	.....13
◆シリーズ はたらく	
人財発掘・確保の検討事例	.....14

## 『広島 里山福祉研究会』

平成29年12月9日(土)  
コアハウス(庄原市 美湯ハイツ内)

里山福祉は、地域社会で“安心して日々の生活を重ねていく”ことであり、生き甲斐を持ち、隣り近所で役割を果たし合うことから創られる“安寧な暮らし”を支援し合うことです。さらに、社会問題(生活困窮者など)にも取り組み、地域社会を基盤として福祉の街づくりのための社会資源の活用や社会福祉制度の確立、福祉教育の展開を包括的に行う活動ともいえます。里山福祉研究会は、里山・里海・里川の暮らしや活動を人間生活の原点と考え、地域福祉の新しいステージとして研究するものです。(設立趣旨：会長 渡邊洋一)

本研究会の1回目の取組みとして、演者5名によるリレートークを開催し、庄原市・三次市の住民が参加した。社会福祉法人優輝福祉会 熊原保理事長「まちづくり型福祉の実践 コミュニティケアからコミュニティサービスへ」からスタートし、NPO 法人地域福祉研究室 pipi 渡邊洋一理事長「里山福祉研究会のめざすもの」、備北地域生活支援協会 備北障害者就業・生活支援センター 谷口 光治 所長「里山での就労を考察する」、日本総合研究所調査部 藻谷浩介主席研究員「地域の処方箋 ～里山福祉への期待～」とバトンをつなぎ、社会福祉法人誠友会(アグリのおいらせ) 吉米地義之理事長の「青森での里山福祉の実践」で締めくくった。



研究会会長の渡邊洋一氏

以下、『デーリー東北』 デーリー東北新聞社 編集局報道部(田村) 平成30年1月14日より  
『地域内でお金の環流を』

野球に例えると人生は九回裏までであるが、都会で働く人は六回裏(=60歳)までしか考えていない。田舎では七回、八回の“選手”が生き生きと野菜を作り近所に配って感謝されるが、都会で1円も生産できない人は貯金を減らし、不安な日々を送ることになる。地方で人口が減り、都市部で増加していると思われがちだが、実は増加しているのは大部分が高齢者。東京で老人ホームに入るより、地方に戻って野菜を作って暮らしてくれた方がはるかに社会が豊かに



藻谷浩介主席研究員

なり、本人のためにもなる。地方が生き残るにはお金の使い方を変え、地元で消費する原材料費や燃料費をできるだけ地域内で調達することが必要。都会や海外に流出するお金を減らし、地元で使ってくれる若い人への給料とするべきだ。里山福祉を担う社会福祉法人はその最大の担い手となり得る。頑張ってもらいたい。と藻谷氏。

### 『福祉施設を「支役所」に』

里山地域である庄原市、三次市を拠点とし、四半世紀前から「ソフトケア」をモットーに「まちづくり型サービス」を続けている。ソフトケアは障害者や高齢者、障害の種別で区分せず、利用者がどんな生活を望んでいるかを重視する。制度で対応できないことへの挑戦が民間の役割で、実践し成果を上げることが利用者の笑顔につながり、日本の福祉を変える。その出発として里山福祉が必要で、福祉施設がポンプ役のまちづくりを提案

したい。われわれの施設では、担い手の減っている農林業に利用者が従事し、野菜やまきを生産している。廃業したレストランや自動車工場もそのまま引き継いで、障害者が働く場所になっている。地域の中で、福祉施設が安心できるもう一つの役場のような「支役所（しやくしょ）」になっていけばいいと思う。と熊原氏。



熊原保理事長

### 『連携が相乗効果を発揮』

青森県は人口減少が高く、最近では利用者不足に悩む高齢者施設もある。地域の縮小が想像を上回る速さで進む中、農業・地域・福祉・観光をつなぎ、年齢や障害の有無にかかわらず活躍、交流できる場の創造に取り組んでいる。障害者の雇用と活躍の場として観光農園を始めた当初は、周囲から「なぜ福祉がそんなことをやるのか」との声もあった。理解してもらうために多目的交流施設を整えると、少しずつ住民が利用してくれ、地域とのつながりが増えた。

連携が相乗効果を発揮し、町中心部の空き店舗に開設した「おいらっせ交流館」は、地元の観光交流拠点に。注目されることで地域の見る目も変わり、法人への就職希望も増えた。と苫米地氏。



苫米地義之理事長

以上、真に豊かな生き方を地方から発信する決意を新たに、参加者 100 名と共に研究していきたい。

## おしゃれでスタイル抜群のスーパーウーマン

小規模多機能型居宅介護事業所 横山旅館

今日は、おしゃれでスタイル抜群のスーパーウーマン A さんを紹介します。

いつも明るく元気な A さん。話し上手で聞き上手、利用者やご家族からも信頼されています。料理はプロ並み。食事当番の日の食事は、まるでレストランのランチのようです。書道も三段の腕前で、お正月には彼女の素敵な書が横山旅館の室内を彩ります。

こんな魅力的な A さんですが、なんと横山旅館職員最高齢の 69 歳。家庭では、孫 5 人ともうすぐ 2 人目のひ孫が生まれるおばあちゃんです。けれど、この話を聞いて、信じない人がいるほど若さが溢れています。

実は A さん、3～4 年前には右肩骨折、去年は肩腱板断裂で入院手術をしています。足や腰の痛みで辛い時もあるようですが、辛い顔を見せることはなく、いつも笑顔です。明るく元気で前向きに仕事に取り組む姿勢は年齢を感じさせません。ストレス解消法は、食べること、花や野菜を育てること、旅行に行くこと。ストレスはないよと語る A さん。ストレスをためないこと、これが若さの秘訣なのかもしれませんね。

私たちは、いつも A さんからパワーをもらっています。年齢の近い利用者は、共通の話題や昔話などができるので、懐かしさや元気をもらっています。彼女のような歳の重ね方をしたいという職員もいます。彼女がいるだけで室内がパァッと明るくなるように感じるので。いつまでも若く美しく、私たちと一緒に働き続けていただきたいと思います。(久保)



スーパーウーマン書

# 傍楽笑顔

はたらく

～皆さんの「はたらく」も支援します～

自分のやりたいことやできることと、会社から求められるものが一致するように調整します。笑顔で生きがいをもって働き続けることができるように「働く力のスキルアップ」を目指します。  
"収入を得たい" "社会に出て働くことで新たな生きがいを見つけたい" "障害者雇用を考えたい" そんな「はたらく」に興味のある方はぜひご相談ください。

## この事業所に『この人』あり

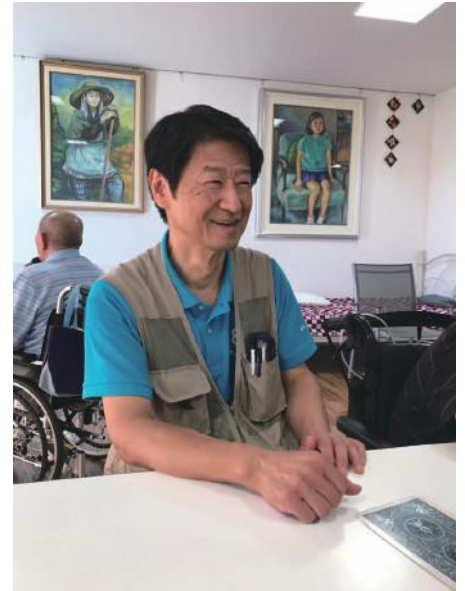
### 川崎市から庄原市へ。1ターン

障害者多機能型事業所 みとう温泉

平成29年10月からみとう温泉の職業指導員として働いている原正博さん。公務員を退職され優輝福祉会の職員となりました。実は現在、神奈川県川崎市から単身赴任で生活されています。元々原さんが地域の活性化に強く関心を持たれており、「かがり火」と言う地域情報誌へ優輝福祉会の記事が掲載されたことがきっかけで、大きな決断をされました。

みとう温泉の業務では、土地勘がない場所の送迎や方言の違いで毎日が発見！苦労！驚き！の連続。また、対人援助の場面では障害の特性に対応する事の難しさに苦労されていました。半年が経ち、現在では真面目で誠実な性格でコツコツと何事にも取り組まれています。また、地元自治会の組織内に設置された美湯生活改善特別委員会の事務局でも働かれています。庄原へ引っ越し、あっという間に8ヶ月が過ぎました。忙しい日々の中、奥様のありがたみを感じながら今日も奮闘中です！！

(佐々木)



デイサービスでの原さん

## 社会参加の紹介

### みとう はなうえ隊

みとうハイツ自治会有志グループの団地内を花でいっぱいにする活動に、デイサービス・生活介護事業所・ほほえみキッズ園の利用者、職員も協力しています。まずは、団地内の桜の木の根元にはなうえ隊が出動しました。



## 配食サービス

高齢者総合福祉センター ユーシャイン

ユーシャインでは、庄原市の食の委託事業の一環として配食サービスを行っています。栄養バランスの取れた食事の提供にとどまらず、安否確認、健康状態に異常があったときの関係者への連絡等を行っています。食事の用意が困難な方、栄養が偏りがちな一人暮らしの方、高齢のご夫婦が主に利用されています。ある利用者の方は、認知症を持ちながら一人で生活をされています。日中はデイサービス、夕食は配食を利用されているため、食事の面や日常生活での支援など問題なく安心して過ごされています。配食については、事務所、特養、デイサービスと幅広い職員で行っており、様々な専門職が地域へ出向く機会になっています。今後も地域包括ケアの一翼として、コミュニティワーカーとしての地域での支え合いに関わっていけるよう取り組んでいきたいと思えます。(春田)



配食風景（ご利用者宅にて）

## みら屋カフェ

認知症対応型共同生活介護事業所 みら屋

みら屋三良坂では、ご利用者様、ご家族、地域の方に参加して頂き年2回みらやカフェを行っています。昨年こんなエピソードがありました。退所された方のご家族が参加された時のこと。「お母さんと一緒に居る様で、心が和みます。」とご利用者様と一緒にお話をされたり、飲み物の介助をしてくださったりとほほえましい一コマがありました。とてもうれしく思いました。＜継続は力なり＞と少しでも回数を増し皆様に「来ましたよ！！あがります。」と気軽に立ち寄れる場所になる様、地域密着をめざしご利用者様と職員、地域の人と笑顔いっぱいでお待ちしております。(中村)



カフェの最新メニュー

## 小規模利用者さんから就労社員さんへ雑巾の贈呈

障害者多機能型事業所 ゆうしゃいん三次

ゆうしゃいん三次の社員さんは毎朝、廊下や玄関トイレなどを掃除している。廊下はモップに雑巾を挟んで乾き拭き。「腰を下げて力を入れようね！」と職員の声かけ。階段は掃き掃除の後雑巾を濡らしてぎゅっと絞って、一段ずつ丁寧に拭く。「1、2、3。1、2、3。」の音が聞こえる。トイレ掃除は、便座に次亜塩素酸水を霧吹きして、たたんだトイレットペーパーで清潔に拭き上げる。その後床に水を撒いてブラシで磨き、水切りで水を排水溝に寄せる。さらに乾いた雑巾で水気を吸い取る。水が残っていると足が滑りやすいことを社員さんは教わっているのだ。掃除で使ったたくさんの雑巾は、洗濯機で洗い、タコ足に干している。

さて、高齢者のAさんはときどき洗濯物を干していた。3月の初旬、春を思わせる暖かい日の出来事だ。脇にあるタコ足にはいつも雑巾が干してある。雑巾は、ハンドタオルサイズやフェイスタオルサイズ、もっと小さなサイズのものもあり、ボロボロで穴があいていたり、ちぎれたものもあった。翌日の午前中、Aさんは入浴のため廊下を浴室に向かって歩いていた。社員さんの数人が掃除用具収納の前で雑巾がボロボロで、枚数が足りないことを話していた。Aさんはお風呂で職員に、「雑巾を縫おうか。私は得意よ」と話し、さっき社員さんが話していたことや、タコ足に干してある雑巾の中にボロボロのものがあることを話した。このことがきっかけで高齢者利用者さんから就労の社員さんに雑巾を贈ることが決まり、活動の時間に雑巾を縫うことにした。(花田)



小規模利用者から社員さんへ贈呈

### 職員大募集!

## 福祉に興味がある人、集まれ!

ユーシャイン・優輝福祉会には、高齢者介護だけでなく、障害者福祉、幼児保育などもあります。あなたにピッタリのやりたい仕事が見つかりますよ。

#### 正職員積極採用中

- ① 生活支援員
- ② ケアマネジャー
- ③ 介護スタッフ
- ④ 看護スタッフ
- ⑤ 調理スタッフ

#### パート・アルバイト同時募集中

- ⑥ 運転配送スタッフ
- ⑦ 夜勤・遅出・早出専門スタッフ
- ⑧ 保育スタッフ
- ⑨ 事務庶務スタッフ
- ⑩ 幹部候補生

見学無料体験  
随時受付中!

ブランクのある方 **OK!**

パート希望 **OK!**

未経験無資格 **OK!**

子ども連れ **OK!**

高齢者障害者 **OK!**

## いろいろな防災訓練

小規模多機能型居宅介護事業所 ゆうしゃいん塩町

ゆうしゃいん塩町では、職員からの声を生かして毎月、年に2回の消防訓練以外にいろいろな防災訓練を実施しています。

ここ近年、地震や噴火、豪雨など災害は大規模化し、各地で大きな被害をもたらしており、災害がとても恐ろしいことだと改めて感じています。疑似体験の機会をもつことで緊急時に冷静に判断し、行動できるように取り組んでいます。

実際に地震に直面したこともありましたが、その時、慌てず職員が声を掛け合って、ガスの元栓を閉める者、2階へ確認に行く者、別の部屋へ確認に行く者、窓のカーテン



地震発生時の訓練中



防災マップを確認しながら勉強中

があり、訓練後の反省を生かして次の訓練に取り組んでいます。今後は自治会、消防団田幸分団へも話をして一緒に消防地域の方と防災意識を高めていきたいと思っています。(重廣)

を閉める者、毛布を持って来る者、等じっとして頭を守る姿勢を取るように声を掛け合いながら、人数確認もスムーズに出来ました。

突然のことで正直ビックリしましたが、毎月の訓練が生かされ職員一人一人がしっかり役割を認識し、行動することが出来ていました。私たち職員としては訓練を重ねるごとに落ち着いて利用者の安全確保や避難誘導を行えるようになってきたように感じています。

また、毎月実施することで新しい発見



## まちの一員として生活する事

障害者多機能型事業所 里山福業

昨年夏、里山福業は庄原市永末町のみとうハイツ近くへ移転しました。昨年末、みとうハイツ自治会の環境整備活動に里山福業も職員、社員（利用者さん）共に参加しました。当日は住人の方と一緒に環境整備後に出た枝葉の運搬や処理などを行い大変喜んでいただきました。

驚いたのはその後、事業所社員さんが「みとうハイツ内の畑やハウスなどの作業場まで、天気の良い日は歩いて行きたい」といった声が出てきたことです。職員側からも「歩道の



団地内の草刈り作業

草の1本、ゴミの1つでも拾いながら日々地域保全の一端に携わらせてもらえるし良いことでは

ないかな」などの声がありました。

最近では自治会に所属している職員が橋渡しとなり、自治会と次の協力の話が出てきていますし、そういった活動を通じて出た枝葉など地域資源を使ったキーホルダーやコースター、各種行事で使用する飾りなど木工製品作りにも、社員さんが作業の一環で生産活動をしています。目下はみとうハイツ内の道路に並べる木工花壇の生産を考案中です。（藤川）



造園（備北丘陵公園にて）

## 活躍の場がいっぱいの施設

障害者支援施設 ともいきの里

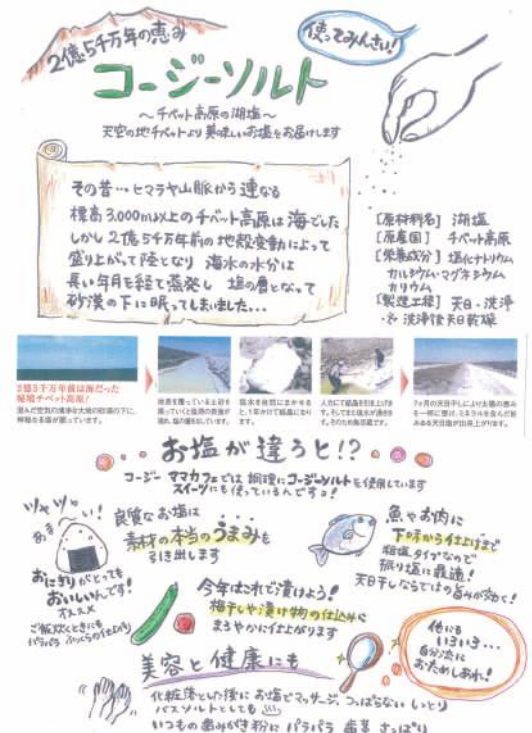
ともいきの里では現在30人程度の職員が働き、施設で暮らす身体障がい者・知的障がい者・精神障がい者の生活を支えています。職員の仕事の内容は生活全てに係ることなので、一般的な食事や入浴などの介護はもちろんですが、手芸や外出などの活動支援や時に恋愛や結婚に関する相談などの色々なものがあります。この仕事に携わる職員は、以前は他の仕事をしてきた転職者が多く、これまでの職歴を活かして手芸活動に取り組んだり、特技を活かして音楽活動を行ったりするなどの芸達者な人もいます。また、子育て中の職員もおり、子どもの病気休暇・早退や保育所・学校行事の参加などには職員同士が「お互い様の気持ち」で協力し合っています。このようにともいきの里では、「障がい者の生活支援」と併せて、「家庭」と「職場」の両立を図るため「いろいろな働き方をする職員」の支え合いを行う「ほのぼのとした施設」であり「ほのぼのとした職場」です。これからもどうぞよろしくお願い致します。(田邊)



## コーギーソルト

就労継続支援 B 型事業所 コーギーガーデン

おげんきさまです。コーギーガーデンです。いつもレストランとパン販売をご利用いただきありがとうございます。コーギーガーデンでは新たに塩の販売をはじめました。チベット高原から採取されるミネラルの豊富な自然塩になります。ミネラルがぎっしり詰まった、優しい味わいのある塩で、素材本来の旨味を引き出してくれる主役にもなります。肉や魚料理との相性もバッチリですし、おむすびの味付けとしても最適。レストランやパン屋でもこの塩を使った商品を開発して皆様にお届けしています。是非一度召し上がって塩の違いを感じてみてください。販売はコーギーガーデンにておこなっておりますので、お立ち寄りの際のお土産としてもご利用ください。そうそう、肝心な塩の名前をわすれていました。その名前は…コーギーソルトです。コーギーガーデンのコーギーソルトで心身ともにお元気に！！(延原)



## みず幸場 ～メガネの田中との災害救援協働～

障害者多機能型事業所 みとう温泉



全国 120 店舗体制のメガネの田中チェーンは庄原市にある障害者就労支援施設「みず幸場」に、ボトル入りナチュラルウォーター「メガネの田中の水」の生産を依頼し、今夏から一部店舗で提供を始める予定。同市内宮内町で採水した中国山地の地下水で、超軟水のまろやかな口当たり。ロゴをデザインしたオリジナルボトルには、メッセージが書き込める、吹き出しを入れるなど、接客に役立つ効果も期待する。1本につき10円ずつ上乗せして施設を運営する優輝福社会に代金を支払う。当面は12店舗で扱う。(『平成30年7月19日発行 広島経済レポート』より)

この度の西日本豪雨災害では、救援水としてメガネの田中様より依頼を受けみず幸場の天然水と合わせて13,632本の搬送を瀬戸田・江田島・坂・三原等に向けて行いました。

豪雨により被害にあわれた皆様に、謹んでお見舞いを申し上げますとともに、亡くなられた方々とご遺族に深くお悔やみを申し上げます。一日も早い復旧を心よりお祈り申し上げます。

# 感謝

## 福祉車両補助 トラック

## ありがとう

今年度、日本財団より福祉車両の助成をいただきました。今回の車両はトラックです。就労継続支援事業にて使用する予定です。地域密着な活動や営業などで活用させていただきます。

ありがとうございました。



## 配達員よりゆうしゃいん庄原へ 『ありがとう』の便り

### ゆうしゃいん庄原の皆様へ

慣れない雪に立ち往生をして  
困り果ててしまっていた時に、  
お仕事にもかかわらず足を止めて下さり、  
また、駆けつけて下さりましたこと  
とても感謝しております。  
言葉では、言い表せられないほど  
嬉しかったです。。。

何らかの形でお返しができたらと  
思っておりましたが・・・  
本日をもちまして配達が終わってしまいます。  
とても残念です。。。

～中略～

庄原への配達、雪、そして  
皆様から頂いた優しさ！  
決して忘れることなく  
今後の人生や仕事に  
生かしていきたいと思っております。  
本当にありがとうございました。

季節の変わり目となります。  
皆様、お身体ご自愛下さいませ。

## 認知症カフェ

優輝福社会では、平成 29 年 3 月から地域全体で支えていく仕組み作りとして三次市認定事業である認知症カフェ（虹色サロン）を開催しています。認知症カフェは、地域の方が一緒にお茶などを飲みながら、日頃のちょっとした悩みを話をしたり、相談できる場です。優輝福社会では、カフェ笑花（ゆうしゃいん笑花）、はたじきカフェ（ゆうしゃいん三次）、認知症カフェコージー（コージーガーデン）、認知症カフェとこりん（田中宅）、だんらんカフェ（藤原別荘）の 5 か所で、月に 1 回開催しています。



カフェでは、押し花をしたり、チューブ体操をしたり、お茶を飲みながら認知症の話をしたりしています。参加された方からは、「今日はよく笑ったわ。」などうれしい声も聞こえてきます。地域の皆様の楽しく交流できる場となるよう続けていきたいと思っています。（上野）

## 魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま

平成 29 年 7 月に認定

本制度は、福祉・介護人材の確保・定着を図るため、自ら就業環境の改善（人材育成やキャリアパス、定着・給与改善等）に取り組み、その内容を積極的に開示する事業所を「魅力ある福祉・介護の職場宣言ひろしま事業所」として、広島県福祉・介護人材確保等総合支援協議会が確認し、公開することにより、福祉・介護職の魅力や就業環境が整った事業所の情報発信、事業所の円滑な求人活動の支援と就業の促進、職員の定着に役立てることを目的としています。



自己点検ツールを同年 8 月に実施し、事業所の業務改善などに役立てています。

# 人財発掘・確保の検討事例

人財タスクフォース team

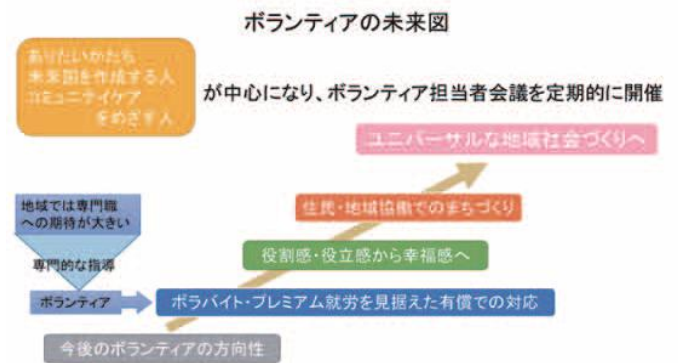
平成 28 年の募集開始から 2 年を迎えようとしています。試行錯誤で始めたボラバイトの登録者は 40 名を超え、活動の仕方・働き方の幅が広がっているように感じます。例えば、定年退職後の方で、フルタイムでの就労は難しく、余暇を楽しみながら短時間での活動を行っている方がいます。

また、一般就労を継続することが難しく就労の場が提供されていない方もおり、そのような方に対し面談を実施し、法人内での活動内容を模索し、負担にならないような活動から始め、徐々に一般就労に近づけていくような方法も行っています。

ボラバイト活動者の募集方法も多様であり、まず平成 29 年 4 月に広告にて三次・庄原地域に募集を行い、30 件近くの問い合わせがありました。

その後、登録・活動をしている段階でも応募者からの紹介であったり、法人職員からの紹介であつたり、

社会福祉協議会などからの紹介もあり潜在的な活動対象者は多数であるということが再確認されました。このボラバイト活動を当法人以外の事業所・団体などでも普及できれば全国的な人材難を乗り越え、ニッポン一億総活躍・地域共生社会の実現に近づくのではないかと考えます。



平成 28 年の未来図



現時点での未来図

## ボラバイト大募集

※ボラバイト：ボランティアとバイトを組み合わせた造語です。

### プレミアムチャレンジャー!?

ゆうしゃいんは青年（一般の方も）・高齢者や障害者手帳の有無に関わらず様々な理由で働きづらい状態にある方を迎え入れ、ともに働くこと（協働）を目指しています。社会福祉法人の地域貢献として考えました。

現在の雇用形態では馴染みづらい方でも、例えば短時間、そして週一回のボラバイトなど、個性や事情に合わせた多様な働き方を作り出しています。様々な職種がありますので、是非福祉の世界で働いてみませんか。

- |       |         |         |       |       |
|-------|---------|---------|-------|-------|
| 配食    | 介助      | 運動・リハビリ | 買物    | 運転手   |
| おしゃべり | つくる・教える | 掃除・洗濯   | 料理    | 農業・園芸 |
| 保育手伝い | 歌・踊り・演奏 | 事務作業    | 散歩・付添 | 行事参加  |

- ・経験・年齢不問！学生も大歓迎！登録制です！
- ・ボラバイト講習会を随時開催！
- ・（地域活動をエンジョイするためのヒントやスキル、心構えが学べます）
- ・やってみたいことも大募集中！あなたのアイデアを実現させましょう！
- ・ボラバイトに参加すると、様々な報酬があります！
- ・日にち、時間帯、地域の希望もお受けします！
- ・詳しい内容を知りたい方、興味のある方は是非お問合せください。

得意な事を、楽しく無理なくはじめませんか？  
自分自身の介護予防のために、自ら気づき学ぶために…  
きっとあなたに合ったボラバイトがあります！  
**初めての方も大歓迎!**



お問い合わせ先  
お申込み

三次地区  
(ケアハウス吉吉)

TEL.0824-43-3110

庄原地区  
(ゆうしゃいん庄原)

TEL.0824-75-0310

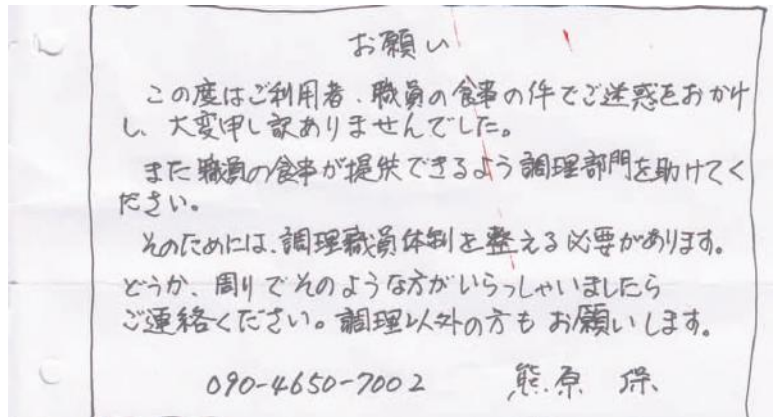
# 人財発掘・確保の検討事例

ユーシャイン

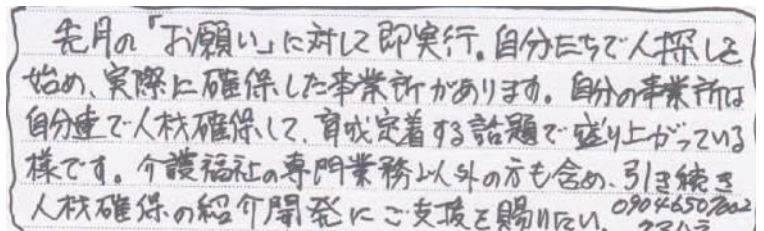
福祉介護業界は人材不足に苦しんでいます。事業所の中ではどの職員も重要な役割を担っているが、その中で1人でも欠けてしまうとサービスの提供に大きな影響が出てくる可能性があります。人材難で、人員を補充することが難しい状況の中ついに、自分たちの事業所で一緒に働く職員を探していこうという号令があがりました。

真っ先に動いたのが、本部ユーシャイン！！職員で探した結果、数名の確保に成功。業務を整理・分掌し、タイムスケジュールを組んで効率よく働けるようにして、事業所内で協力しています。

まだまだ課題もあるが、事業所内での問題を自分たちで何とかするという動きがより質の良いサービスにつながることを信じ、地域のモデルになれるように・・・



理事長よりお願い



お願いから1カ月後

時間/勤務	食堂	ワークルーム	洗濯場	居室
5:00				
6:00				
7:00				
8:00				
9:00	朝食食器洗い、ポット確認	ティータイム入れ	食事エプロン干し	
9:30			洗濯物畳み	
10:00			翌日入浴着次期準備 (入所のみ)	各タンスに収める
10:30				タンス整理
11:00	ティータイムコップ持っていく	ティータイムコップ洗い		
11:15	エプロン重ねる			
11:20	お茶入れる、ポット確認			
12:00				
13:00				
14:00				

ボラバイトタイムスケジュール



優輝福社会  
WELLBEING FACILITIES YUUKI FUKUSHI KAI



発行所：社会福祉法人 優輝福社会  
〒729-3713 広島県庄原市総領町中領家 476  
**tel. 0824-88-3000**  
mail. youshine@yuukifukushikai.com  
<http://www.yuukifukushikai.com>

「ほほえみパーク」は、障害者多機能事業所  
みとう温泉の「優輝デザイン」において、  
障害を持った社員とともに制作した、優輝福社会の広報誌です。

